

ごあいさつ



創立以来137年、東京YMCAは青少年の限りない成長を願い、様々な社会課題に向き合いながらその使命を果たしてきました。その働きは、いつの時代においても使命に賛同する方々の尊い志によって担われ支えられてきたことはご存じのとおりです。

昨年の熊本地震の際には、東京YMCAよりスタッフや学生、ボランティアが継続的に派遣され、避難所運営や被災者の支援活動において重要な役割を果たしました。賛助会会員の皆様から寄せられた多くのご支援がこの働きを力強く支えてきました。子どもたちのレクリエーションや仮設住宅の居住者の支援活動は、今なお皆様をはじめ多くの方々の支援を得ながら全国のYMCAが続けている取組みです。

また、多様化し複雑化していく現在の社会環境の中で、生きづらさを感じる子どもや若者がいることにも目を向けなければいけません。YMCAに求められる働きがここにもあります。キャンプを初めとするYMCAの青少年プログラムは、子どもや若者が「誰かとつながる体験」の場です。その体験は明日を担う子どもや若者の未来を輝かせる力を持っていると確信しています。

私たち企業は、このYMCAの働きに力を寄せていくことで社会的責任を果たしていきたいと願います。この尊い志の輪に連なる賛助会会員の皆様には、引き続き東京YMCAの働きにご支援いただくことをお願い申し上げます。

東京YMCA 賛助会会長
野村ホールディングス株式会社 名誉顧問

氏家 純一

賛助会員の皆様には、平素より東京YMCAの諸活動に格別なるご理解とご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。会員の皆様からの温かいお励ましに支えられ、社会で必要とされる働きを進め、お陰様でこの一年も使命に適った実り多い諸活動を展開することができました。

昨年4月に発生した熊本大地震では、全国YMCAのネットワークを生かしたさまざまな復興支援活動を展開してまいりました。多くの皆様から物心両面にわたるご支援をいただきましたことに心よりお礼を申し上げます。

今年度は「2016-2018年度中期計画」の2年目にあたります。各部門では未来のために今何をなすべきかを真剣に考え実行に移しております。また全国のYMCAとしても「YMCAブランドの再生」をうたい、間もなく本格的な始動となる段階を迎えております。

国内外において変化の激しい時代ですが、力を尽くして社会の課題に取り組んでまいります。賛助会員の皆様のご協力に感謝し、引き続きご指導とご支援をお願い申し上げます。

公益財団法人東京YMCA代表理事
総主事

菅谷 淳





賛助会役員

会 長	氏家 純一	野村ホールディングス株式会社 名誉顧問
名誉会長	橋本 徹	株式会社日本政策投資銀行 相談役
	北城 悟太郎	経済同友会 終身幹事・日本アイ・ビー・エム株式会社名誉相談役
理 事	山本 忠人	富士ゼロックス株式会社 代表取締役会長
理 事	ケネス・ライリー	A I U損害保険株式会社 代表取締役社長兼 CEO
理 事	茂木 友三郎	キッコーマン株式会社 取締役 名誉会長 取締役会議長
理 事	見目 信樹	株式会社日清製粉グループ本社 取締役社長
理 事	大谷 和彦	株式会社ニュー・オータニ 代表取締役社長
理 事	五十嵐 素一	株式会社白洋舎 代表取締役社長
理 事	村越 晃	三菱商事株式会社 常務執行役員
理 事	飯島 延浩	山崎製パン株式会社 代表取締役社長

歴代賛助会会長

初 代	安川 第五郎	(元日本原子力発電 会長)
第2代	田實 涉	(元三菱銀行)
第3代	駒井 健一郎	(元日立製作所)
第4代	小山 五郎	(元三井銀行)
第5代	佐波 正一	(元株式会社東芝 特別顧問)
第6代	橋本 徹	(株式会社日本政策投資銀行相談役)
第7代	北城 悟太郎	(経済同友会 終身幹事・日本アイ・ビー・エム株式会社名誉相談役)
第8代	氏家 純一	(野村ホールディングス株式会社 名誉顧問)

2017年度 表彰賛助会員

継続 45年	株式会社 日立ハイテクノロジーズ 株式会社芝パークホテル
継続 40年	イオン株式会社 有限会社保険ネットワークセンター
継続 20年	株式会社メディア・ボックス
継続 15年	株式会社栗田建築事務所 YMサービス株式会社
継続 5年	株式会社高島 ADEKA ライフクリエイイト株式会社
新入会員	デイル・インターナショナル株式会社 グットクリーン 株式会社相互 アチーブメント株式会社



会費・ご寄付によるご支援

2016年度も東京YMCAの諸活動にご支援とお励ましをいただき、心より感謝申し上げます。

● 個人会費・賛助会費 (2016年度個人会費 ¥13,528,129 賛助会費 ¥9,759,676)

YMCAの使命・趣旨にご賛同いただいた個人、企業、団体に、会費によるご支援をいただいております。以下の活動を中心に、東京YMCAの公益活動に用いました。

障がい児支援 知的障がい、ADHD児他	不登校児支援 Liby(居場所活動)	ユースボランティア育成 子ども達のキャンプリーダー他
国際協力活動 バングラデシュ教育支援他	災害復興支援 東日本・熊本大地震 他	その他の公益活動 地域支援活動

● フレンドシップファンド (2016年度募金額 ¥4,395,924 支援実10名)

経済的に困難なご家庭の子どもや養護施設の子どもたちに、キャンプなどのYMCAの活動参加費を援助し、心身の豊かな成長に繋がるかけがえのない体験を提供することができました。

● 国際協力募金 (2016年度募金額 ¥5,078,362)

バングラデシュの働く子ども達への奨学金など、アジアの子ども達の教育支援をはじめ、世界YMCAのネットワークを生かした国際協力活動、留学生支援、青少年育成事業に用いました。

● 東日本大震災復興支援募金 (2016年度募金額 ¥6,964,495)

東日本大震災と原発事故によって被災した石巻地域、及び福島被災者を支援するため、ワークキャンプや仮設住宅高齢者支援、子どもプログラムなど、多様なボランティア活動を行いました。

● 熊本大地震緊急支援募金 (発生～2017年3月末現在募金額 ¥14,449,877)

2016年4月14日に熊本でマグニチュード7.3を含む連続地震がおき、直後から熊本YMCAが運営する2つの避難所にスタッフを派遣し、全国YMCAが協力して支援活動を行っています。

● インターナショナル・チャリティーラン (2016年度支援額 ¥5,005,260)

障がい児支援を目的とした駅伝大会で、30回目となった2016年度は53チーム、今年は残念ながら雨の為、大会開始はじまって以来、初めての中止となりました。益金は27の障がい児を支援するプログラムのために用いさせて頂きました。

● 遺贈による寄付制度

遺言書により、東京YMCAに財産の一部を寄付する制度で、提携している信託銀行が、法に則り遺言書作成、保管、実現を手伝います。